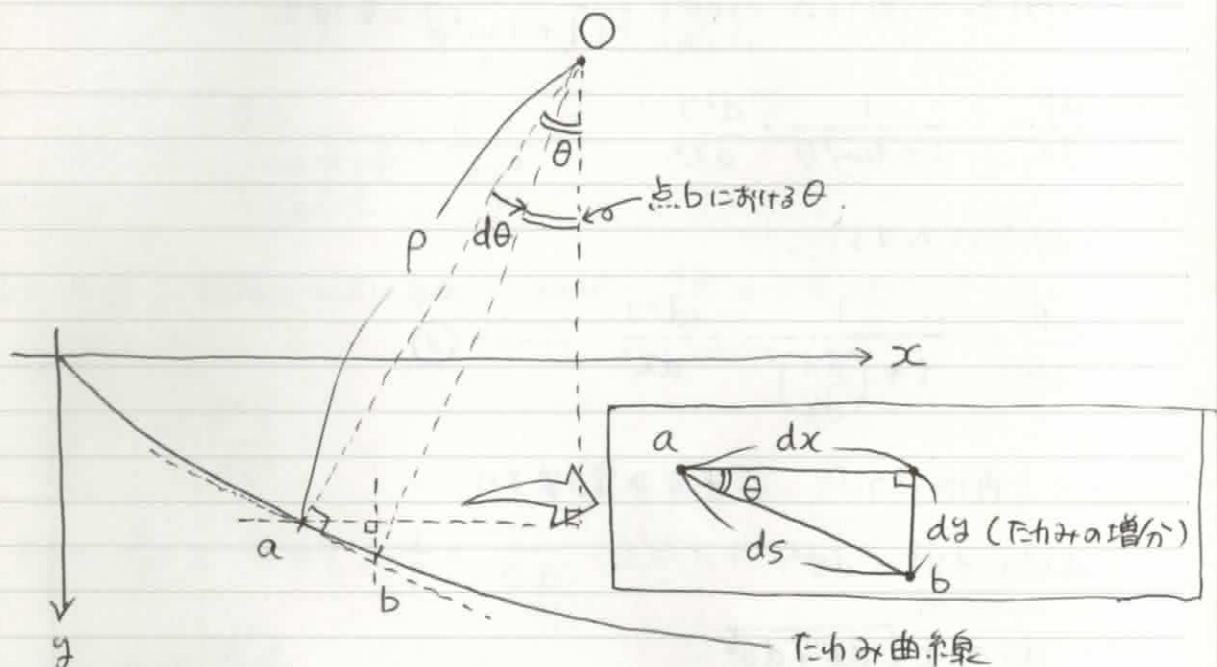


はりのたわみの微分方程式 $\frac{d^2y}{dx^2} = -\frac{M}{EI}$ の導出.

前回「はりの応力とひずみ」資料の3枚目「はりの曲げ応力」の式②.

$$M = \frac{E}{\rho} I \quad (\rho \text{ は曲率半径})$$



※ 区間 ab は微小

→ 円弧で近似可能

→ 円弧の長さ $\div$ 直線 ab の長さ ds .

θ を「たわみ角」という。

$$ds = -\rho d\theta \quad \begin{array}{l} \text{※ } d\theta \text{ は負値のため、マイナスが付く。} \\ \text{※ } \theta \text{ はラジアン} \end{array}$$

したがって、 $\frac{1}{\rho} = -\frac{d\theta}{ds} \quad \text{--- ①}$

また、 $\tan\theta = \frac{dy}{dx} \quad \text{--- ②}$

両辺を x について微分する。 θ も x の関数 (合成関数)

$$\frac{1}{\cos^2 \theta} \cdot \frac{d\theta}{dx} = \frac{d^2 y}{dx^2}$$

$$\therefore \frac{d\theta}{dx} = \cos^2 \theta \cdot \frac{d^2 y}{dx^2}$$

三角関数の関係式 $\cos^2 \theta = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta}$ を使う.

$$\frac{d\theta}{dx} = \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} \cdot \frac{d^2 y}{dx^2}$$

式②を代入すると、

$$\frac{d\theta}{dx} = \frac{1}{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} \cdot \frac{d^2 y}{dx^2} \quad \text{----- ③}$$

④の三角形について、三平方の定理より、

$$dx^2 + dy^2 = ds^2$$

$$\therefore ds = \pm \sqrt{dx^2 + dy^2}$$

$$\frac{dx}{ds} = \frac{\pm dx}{\sqrt{dx^2 + dy^2}}$$

$$= \frac{\pm 1}{\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2}} \quad \text{----- ④}$$

式①を次のように書く.

$$\frac{1}{\rho} = -\frac{d\theta}{ds} = -\frac{d\theta}{dx} \cdot \frac{dx}{ds}$$

式③と式④を代入すると.

$$\begin{aligned} \frac{1}{\rho} &= \frac{1}{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2} \cdot \frac{d^2y}{dx^2} \times \frac{\pm 1}{\sqrt{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2}} \\ &= \frac{\pm 1}{\left\{1 + \left(\frac{dy}{dx}\right)^2\right\}^{\frac{3}{2}}} \cdot \frac{d^2y}{dx^2} \end{aligned}$$

たわみ角 ^{θ} は非常に小さいため、 $\tan\theta = \frac{dy}{dx}$ の2乗項 $\left(\frac{dy}{dx}\right)^2 \div 0$.

$$\therefore \frac{1}{\rho} = \pm \frac{d^2y}{dx^2}$$

$M = \frac{E}{\rho} I$ なので、 $\frac{1}{\rho} = \frac{M}{EI}$ 上式に代入すると.

$$\frac{M}{EI} = \pm \frac{d^2y}{dx^2}$$

±の符号をどのように考えればいいか?

一般的に、曲げモーメントの正負は下図のようにとる.

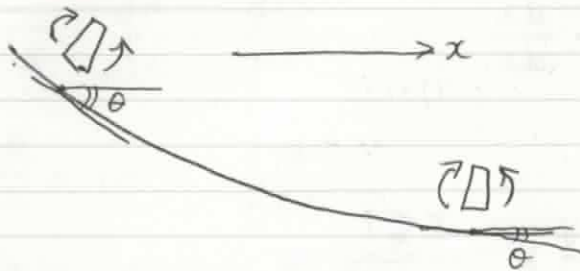


正



負

正の曲げモーメントを受けているとき、はりの変形は、



x の増加するほど、たわみ角 θ は減少。

→ 曲げモーメント M とたわみ角 θ は符号が逆

たわみ角 θ が正だと、たわみは下に向かって増加。

→ ~~曲げモーメント~~ M とたわみ y は符号が ~~逆~~ 同じ。
たわみ角 θ

したがって、

$$\frac{d^2 y}{dx^2} = - \frac{M}{EI}$$